

〈連載〉
あなたもできます
「留学自分流」

第1回
自分流は難しくない

小川翔平(広報青年部会)

みなさんは留学エージェントや、通っている学校の制度を利用しなくても、留学の準備が全部自分でできることをご存知ですか？方法さえ知っていれば、学校選びや申し込み、ビザの取得、家探しまですべて自分でできるのです。しかも学生でなくても。年齢も関係ありません。私は、何でも留学に関するすべてを知っている訳ではありませんが、各国のビザの取得の仕方や、地域の情報について必要な情報の調べ方など、「留学」という活動のマネジメントの仕方をお伝えして、自分で留学準備をしてほしいと思っています。

今回は留学までの流れと、なぜ自分で留学準備をするべきなのか、そのメリットとデメリットについてお話します。

留学準備で行うこと

まず留学準備の大まかな流れは以下の通りです。

- ① 行きたい国を決める
- ② 留学の期間を決める
- ③ 予算を決める
- ④ 留学の目的、理由をよく考える
- ⑤ 現地情報の下調べをする
- ⑥ 学校、プログラムを選ぶ
- ⑦ 授業料振込み
- ⑧ ビザの申請（必要書類の準備・面接）
- ⑨ 家探し
- ⑩ 保険加入（任意）



韓国留学時代の友人と(手前が筆者)

- ⑪ 航空券購入
- ⑫ 荷造り
- ⑬ 心の準備

順番や方法は個人によっても異なります。これはあくまでも、私が実際に留学した際に相談をしたエージェントや、留学先の学校のホームページに載っていた情報をまとめたものです。これだけ見ると、やはり授業料の振込み、ビザの申請、家探し等を自分で行うのは難しいと思うのではないのでしょうか。しかし実はできます。私自身や、私の知り合い何人も同じ手順で独力で留学しました。自分で行う留学準備は時間と手間はかかりますが、決して難しくはありません！具体的な方法については今後、順を追って説明します。

自分流のススメ

もちろん学校の留学制度や、エージェントを利用して留学に行く人も大勢います。しかし、教育機関の留学制度には必ず選抜試験があり、留学するチャンスを得ることのできるのはごくわずかな優秀な生徒のみです。ところが自分流留学には選抜試験はありません。行き先も期間も自由です。だれでもどこへでも行けてしまうんです。それだけでもとても魅力的だと思いませんか。

しかも制度を利用する留学では、行き先は学校同士で提携を結んでいるところに限られてしまうので、必ずしも自分の希望す

る国や学校に行けるわけではありません。

私は大学1年生の時に、留学したい国が2つありました。それはオランダと韓国です。しかし、私の大学はオランダの学校とは提携を結んでおらず、韓国に留学できるのが実際には韓国語学科の学生に限られていて、英語学科であった私には韓国への留学を希望することはできませんでした。そのため自分の力で留学する方法はないかと思い、情報収集を始めたのが自分流留学と出会うきっかけでした。調べてみると個人で留学する方法は意外とあり、自分自身で留学の準備ができることを知りました。結局、時期や予算、その他いろいろな理由でオランダへは行きませんでした。不思議な縁もあり、私は韓国へ留学することになりました。

既存の仕組みをあえて利用しないことで留学の自由度は大幅に高くなるのです。



留学した高麗大学

苦勞が成長させる

留学エージェントを利用すれば安心の留学プランを組んでくれるかも知れませんが、旅行会社のパッケージツアーに参加するのと同じです。もちろん安心の代価として数万円の手数料もかかります。問題なのは、ほとんどの手続きをエージェントに頼った結果、留学先でトラブルが起きたり、学校や宿泊先が自分の理想とずれていた場合、エージェントへの不満を抱くこととなります。現地で起きる問題を他人のせいにして

しまい、留學生活を十分に楽しむことができなくなってしまう可能性があります。

自分で留学の準備をする1番のポイントは、良いことも悪いこともすべて自分に返ってくるということです。自分で選んだ国、学校、滞在先でトラブルが起きても、すべて自分が当事者であり、自らその意識を持って対応することになるので、自分の成長につながるのです。困難に直面することがあってもその状況を楽しむことさえできます。

私の韓国留学は毎日充実していましたが、もちろんトラブルもたくさん起きました。最初に住んでいた家は家賃も安く、部屋も広かったので良かったのですが、部屋からキッチンまではかなり離れていましたし、流し台がなかったのでシャワー室で食器を洗っていました。夏になると虫がたくさん出ました。寝ている間にカサコソと音がして、電気をつけるとおなかの上にゲジゲジのような虫がいたり、学校から帰ると壁にムカデが5匹もついていたりもありました。さすがにその家は引っ越しましたが。(笑) 同じく韓国留学中に財布とかばんをなくしたことがありました。自分で警察や銀行、駅の窓口、入国許可所(身分証の申請)に行かなければならず、かなり大変な思いをしました。

苦勞話だけ聞くと、やっぱり自己流は大変だと思えるかもしれません。しかし、高額の手数料を支払ってエージェントと契約したとしても同じような問題は必ず起きます。エージェントのサポートがしっかりしていれば、電話1本で全ての問題が解決したかもしれません。ですが、誰かが助けてくれるということに甘えて、自分の成長を妨げてしまうことにもなります。

私の留学中、トラブルが起きたときに助けてくれたのは日本語が話せるエージェントではなく、韓国語や英語しか話せない現地の友人たちでした。彼らとのやりとりは自分自身で外国語を使って行わなければな

りません。今思い返すと、トラブルが起きるたびに人とのつながりを感じ、大きく成長できていたんだなと感じます。せっかく多額の自己投資をして留学に行くのであれば、留学する前の自分よりも大きくなって帰りたいはないですか？ 留学の準備を自ら行くと、トラブルが発生したときの心構えもできますし、なによりも問題解決能力

が身につき、大きく成長することができるのです。

とにかく私がお伝えしたいことは「留学準備は自分でできる」「大変だけど難しくはない」「自由で楽しい留学を」「トラブル解決が成長の糧になる」ということです。

次回は「留学先の選び方・留学の目的を考える」の予定です。



韓国留学時代のハロウィンパーティーで友人たちと(左端が筆者)

